



トヨタユースオーケストラ キャンプ2024松江 日本での生活と日本文化... ダヴィット ルーランス

3月30日（土）、現田茂夫指揮 豊田青少年オーケストラキャンプの120人のオーケストラに、D.ショスタコーヴィッチの交響曲第5番の最後の音が響き渡った。その直後には、このフェスティバルの40周年を記念して、約30名の卒業生（元参加者）を加えた同オーケストラによるJ.シベリウスの『フィンランディア』の美しい演奏が行われ、島根県民会館 大ホールに集まった聴衆は、鳥肌が立つような感動に包まれました。トヨタ・ユース・オーケストラ・キャンプ(TYOC)は、1985年に森下元康氏と日本アマチュアオーケストラ連盟（FJAO）によって、トヨタ自動車(株)の支援により1985年に設立されました。このプロジェクトは、音楽教育を推進し、若いアーティストに日本のトップオーケストラの経験豊かなアーティストや教師の指導のもとで技術を磨く機会を与えることを目的としています。このキャンプの独自の特徴の一つは、オーケストラのユース・メンバーで構成される運営グループによって組織されていることで、毎年、日本各地で開催されています。来年2025年は、東京で行われる予定だそうです。TYOCのもうひとつの目的は、地元のオーケストラで演奏し、指導できる若者を地元に残すことです。そしてまた、リハーサル、親睦会、素晴らしい開会式と閉会式に参加し、最終コンサートを共に盛り上げることで、友人を作り、将来のための人間関係を築くと言っても貴重な機会を提供しています。このキャンプは2セッションで構成されています。2023年、日本の参加者はすでに1回目のリハーサル・ブロックを終えており、全国各地のアマチュア・オーケストラの代表者である。海外からは、韓国、台湾、フィリピン、シンガポールからの参加者が招待されました。ベルギーへの招聘のきっかけは、アレックス・ヴァン・ベヴェレン（SG STT VLAMOメンバー）とスティーヴン・ヘレマンス（SG ST VLAMO会長）、彼らがメンバーである世界アマチュアオーケストラ連盟（WFAO）と長年コンタクトをとってきたことがきっかけでした。そして、今回初めて、VLAMOが選出したベルギーからの参加者は、ヤナ・メストダグ（ヴァイオリン）とルーズ・スマウト（ヴィオラ）の2名でした。



ヤナ メスダーグ

16歳のときにショスタコーヴィチの交響曲第5番を日本で演奏できたことは夢のようでした。控えめに言っても、信じられないほど興味深い経験だったし、音楽的にも、社会的にも、知的にも、私は1週間で大きく成長することが出来ました。オーケストラの素晴らしい120人のメンバー、ダヴィッドとルイズ、経験豊かなコーチ陣、完璧な組織のおかげです。日本文化は、それまで見聞きすることはあっても、実際に体験したことはありませんでした。どんな期待を抱いていたにせよ、地球の裏側では物事の扱われ方がまったく違うということに大きな衝撃を受けました。

日本料理、時間厳守、整理整頓、礼儀正しさ、親切心は、本当に私が見習うべきものばかりでした。たとえ助けてくれなくても、日本人は何でもしてくれるし、安心させてくれました。3日間の厳しいリハーサルに加え、ルイズと私は、他の参加者達と共に美しい松江を訪れることができた事はとても幸運でした。素晴らしいヴァイオリニストの森田さん（NHK交響楽団第2ヴァイオリン・リーダー）と三浦さん（東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター）からレッスンを受けるという素晴らしい機会を得ることができ、忘れられない学習体験となりました！このような素晴らしい機会を与えてくれたVLAMO、旅行中一緒にいてくれたデビッドとルイズ、温かく迎えてくれた山路さん、そして忘れられない思い出を作ってくれた日本のTOCチームのみんなに感謝します！



ルイーズ・スマウト

長いフライトの後、私たちは松江のみんなに両手を広げて歓迎されました。日本語しか通じないので、慣れるのに少し時間がかかり、初日は、リハーサル中の説明があまり理解できなかったけど、その後、すべてを英語に訳してくれ、ほっとしました。参加者のミュージシャンたちは、とても理解があって親切で、すべてが完璧にオーガナイズされていました。この日本での1週間の滞在は、本当にたくさんの新しい出会いがあり、私は今回出会った参加者達と将来の計画を色々とお話することが出来ました。土曜日のキャンプは、D.シヨスタコーヴィチの交響曲第5番、J.シベリウスのフィンランディア、ヴェルディのI Vespri Siciliani、そして少人数によるフルートのための協奏曲を演奏する素晴らしいコンサートで幕を閉じました。日本ではチーム・スピリットが非常に重要であり、それを強化するために、コンサートの後に全員で合唱が行われました。私達は日本語の歌詞を音声付きで渡され、さらに英語への翻訳も渡されたので合唱曲の内容を知ることが出来ました。「素晴らしい瞬間はすぐに過ぎ去ってしまう。今、私たちは去りゆく時間を抱きしめている。一緒に歌う喜びは決して忘れない。幸せな時間は永遠には続かない。今、私たちは旅立ちの後、互いを恋しく思うだろう。私たちは共有した時間を決して忘れない」本当に鳥肌が立つ瞬間でした。多くのリハーサルの他に、松江を散策する時間も計画していただき、私たちは松江城を訪れ、他の参加者とピクニックをし交流を深める事が出来ました。そして、日本を離れる最後の日には、満開を迎えた日本の美しい桜を目に焼き付けることが出来とても幸運でした。このプロジェクトに選ばれたことはとても光栄でしたし、今でも良くこの素晴らしい音楽の日々を思い出しています。VLAMOの関係者の方々、スティーヴン、ダヴィット、ヤナ、主催者皆さん、そして参加者の皆さん、この素晴らしい1週間をありがとうございました。

VLAMO SG STT:

<https://www.vlamo.be/sg-strijk-toets-en-tokkelinstrumenten>